



「ひとり」から「ふたり」へ 恋人の聖地

第11回 全国プロポーズの言葉コンテスト

2017.05.31

プロポーズにふさわしいロマンティックな「恋人の聖地」では様々なプロポーズが誕生しています。6月第1日曜日のプロポーズの日には、ちなみ、毎年全国より寄せられたプロポーズの言葉とお二人のエピソードの発表会を開催。今では女性からのプロポーズは当たり前になり、サブライズプロポーズするカップルも増え、プロポーズが「結婚への大切なステップ」繋がっています。



プロポーズの言葉コンテスト2007～2017 最優秀賞

- 第1回 「今ならもれなく、一生幸せ保証付きで、お買い得です」
- 第2回 「途中参加のババだけど、本当のババにして下さい。」
- 第3回 「大台ぞろ目記念で、お嫁にもらってください」
- 第4回 「僕に毎朝、お味噌汁を作らせてください。」
- 第5回 「水や電気は不足しても 私の愛は不足しないよ。」
- 第6回 「ふーやっど、就活おわたっよ。でも、第一希望じゃなかったんだ、本当は…。あなたに永久就職させてください。」
- 第7回 「大船に乗ったつもりで私についてきて下さい」
- 第8回 「赤い糸の25年保証、契約更新しても良いかな？」
- 第9回 「いまは不良債権だけど、そのうち当たりの宝くじになるかもしれんけん。もらって」
- 第10回 「私がお婆ちゃんになっても手を引いて一緒に山に登ってくれますか？」
- 第11回 「もう、恋人の聖地巡りもやめにしない？」



親善大使

活動にご協力、ありがとうございます。



恋人の聖地

LOVER'S SANCTUARY

since 2006

恋人の聖地プロジェクトは2006年より、全国の観光地域の中からプロポーズにふさわしいロマンティックなスポットを「恋人の聖地」として選定し、各地域の新たな魅力づくりを通して、地域活性化ならびに少子化対策への貢献を圖っています。

恋人の聖地の選定委員をさせていただいております。「恋をめぐり」プロジェクトでは地域の魅力の発見や、次世代を担う若い方々に花を通じた教育活動「花育」などを行い、地域活性化に取組む地域や自治体が広域に連携できるよう協力させていただいております。



理事 假屋崎省吾 (東京都)



恋人の聖地プロジェクトは「非婚化・晩婚化の進行」を少子化問題の一つとして捉え、日本全国から自治体などの「恋人の聖地」、地域を代表する施設や民間の「恋人の聖地サテライト」、海外の著名な観光地にも参画いただき、若い人のみならず地域社会に向け「結婚」に対する明るい希望と空気の醸成を図るための活動をしています。

理事 桂由美 (兵庫県)



理事 溝畑 宏 (大塚観光地理事長)

理事 田川博己 (株式会社ソレイスター代表取締役社長)

理事 志垣恭平 (地域活性化コンサルタント)

親善大使・婚活大使 タレント・アーティスト IMALUさん

親善大使・婚活大使 タレント・アーティスト IMALUさん

親善大使・婚活大使 タレント・アーティスト IMALUさん

<http://www.seichi.net>

恋人の聖地 検索

